



# 第二中だより

No. 612

生徒数509名

令和6年5月1日

和光市立第二中学校

〒351-0106

埼玉県和光市広沢1番4号

TEL 048-462-1793 FAX 048-462-1890

<https://2chu.wako-city.ed.jp/>

## 「仲間とともに歩む～Respectの精神～」

ゴールデンウィーク前半の3連休は、気温が高く、初夏の気配を感じる季節となりました。4月に新学期がスタートして、新しい環境に少しずつ慣れ始めた生徒たちも、ゴールデンウィーク後半を挟んで再スタートの5月となります。例年でも、この季節になると新しい環境になかなかなじめない「5月病」という言葉が、どこからともなく聞こえてきますが、この連休が生徒たちにどのように影響するのか、学校でも注意深く見守って参ります。

さて、第二中学校の5月は、大きな行事が目白押しです。3年生の埼玉県学力学習状況調査から始まり引き渡し訓練、修学旅行、体育祭、通信陸上、各種検診、オーケストラ鑑賞会、中間テスト、生徒総会などがあります。大きな行事の中には、体育祭をはじめ仲間とともに取り組む行事がいくつかあります。仲間と取り組む学校行事を成功させ、良い思い出にするための誰にでもできる簡単な秘訣をお伝えします。それは「相手をリスペクトする。」ということです。「リスペクトする。」聞いたことがある人も多いでしょうか。相手に敬意を払う尊重するという意味でつかわれます。今、この学校だよりを読んでくださっている皆さんは、私の書いた学校だよりを大切にしてくれているということです。すなわち、皆さんが私に「リスペクト」してくれているということになります。私が校長から敬意を払ってくれているのかもしれませんが・・・

相手が、校長であろうと、先生であろうと、友人であろうと、先輩であろうと、後輩であろうと、相手のことを大切にすること、そのことを「リスペクト」といいます。私は、長い間、部活動の顧問をしておりましたが、部活動部員に伝えていたことは、対戦相手は、敵ではない、同じ競技を楽しむ大切な「仲間」であるから相手に敬意を払うために「敵」ではなく「対戦相手」と意識してことばを使っていました。また、審判に敬意を払い、フェアプレーの精神を大切にすること、監督やコーチをはじめとする皆さんを支える保護者の皆様に感謝の気持ちを持つことなど「リスペクト」の精神についてたくさんのお話を伝えてきました。人は、みんなそれぞれ違いがあります。そのお互いの違いを認め合うこと、自分とは違う相手のことを大切にすること、尊重することが、「リスペクト」することです。そのためには、相手の話をじっくり聞き、相手の言動や気持ちをしっかり受け止めることが大事なことだと思います。どうか相手を大切にすること、尊重することといった「リスペクト」の心を持ってください。そして、あたりまえのことに感謝できる気持ちを忘れずに過ごしてください。そうすれば、きっとあなた自身も相手からリスペクトされ、周りから感謝される人になっていくはずですよ。私は、生徒同士、また先生と生徒のお互いが、相手を大切にしあえる、リスペクトしあえる、そんな生徒や教職員が活躍できる学校にしたいと強く思っています。